

2016年4月8日

## 新刊書籍発売のお知らせ 「みんなでつくる総合計画」 高知県佐川町流ソーシャルデザイン

—まず地域がすべきことは、住民みんなで未来を描くことだ—

寛裕介（issue+design代表）がクリエイティブ・ディレクターをつとめる高知県佐川町では、社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決するissue+designとともに、住民約500人の参加による全18回のワークショップを重ねて、10年後2025年の町の未来像とその実現のためのアクションプランである第五次総合計画を過去2年間作ってまいりました。その制作過程と佐川町の未来像を記した「みんなでつくる総合計画—高知県佐川町流ソーシャルデザイン」を、2016年4月10日に発売いたします。

『町民が“楽しく”まちに関わる総合計画』をテーマに制作された、新コンセプトの書籍です。

｜新コンセプト｜ <http://goo.gl/R7I9DZ>

第5次佐川町総合計画においては、行政施策の指針としての本計画書に加え、町民一人一人が主体的に明るい未来へ向けたアクションをおこし、町づくりに関わるための方法を示した町民向けの別冊を制作しました。この別冊には、町民ワークショップから出たさまざまなアクションを元に描かれた10年後の佐川町における25の未来像と、それを実現するための町民の具体的な行動が示されています。

『肩肘を張った「町づくり」から、町での生活を楽しむ「まちあそび」へ』を制作の基本方針に据え、自分の得意なことを誰かに教えたり、植物を育てたり、ものづくりをしたりするなど、佐川の町の中で暮らすことを楽しむことで、明るい佐川町の10年後をみんなで実現していきましようと呼びかけています。

｜チームさかわ｜

本書籍の著である「チームさかわ」は、「住民一人ひとりの想いや行動を結集し、“わたしたちのまち・さかわ”をつくる」。そんな想いから生まれた佐川町民13,387人（2016年3月現在）をあらわす言葉です。

｜監修｜

寛裕介/1975年生まれ。東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。2008年 issue+design 設立。以降、社会課題解決、地域活性化のためのデザイン領域のプロジェクトに取り組む。著書に『ソーシャルデザイン実践ガイド』『人口減少×デザイン』など。育児・観光・復興・まちづくり関連のプロジェクトでグッドデザイン賞、カンヌライオンズ(フランス)他、受賞多数。2015年9月より、同町クリエイティブディレクターに就任。

｜お問い合わせ｜

issue+design 「みんなでつくる総合計画」 事務局：白木  
TEL:03-6441-7752 Mail:info@issueplusdesign.jp HP:<http://issueplusdesign.jp>



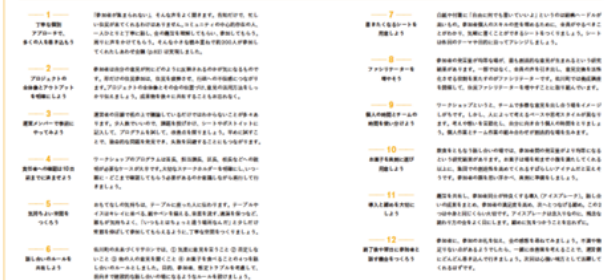
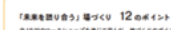
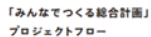
出版社：学芸出版社  
単行本（ソフトカバー）：168ページ  
言語：日本語  
ISBN-10: 4761526211  
ISBN-13: 978-4761526214  
金額：2,376円  
Amazon： <http://goo.gl/R7I9DZ>



まじめに、おもしろく。

チームさかわ  
高知県佐川町

第一部 プロセス編 : みんなでつくる総合計画ができるまで



## | 第二部 ビジョン編 : さかわの楽しみ方2025 |

